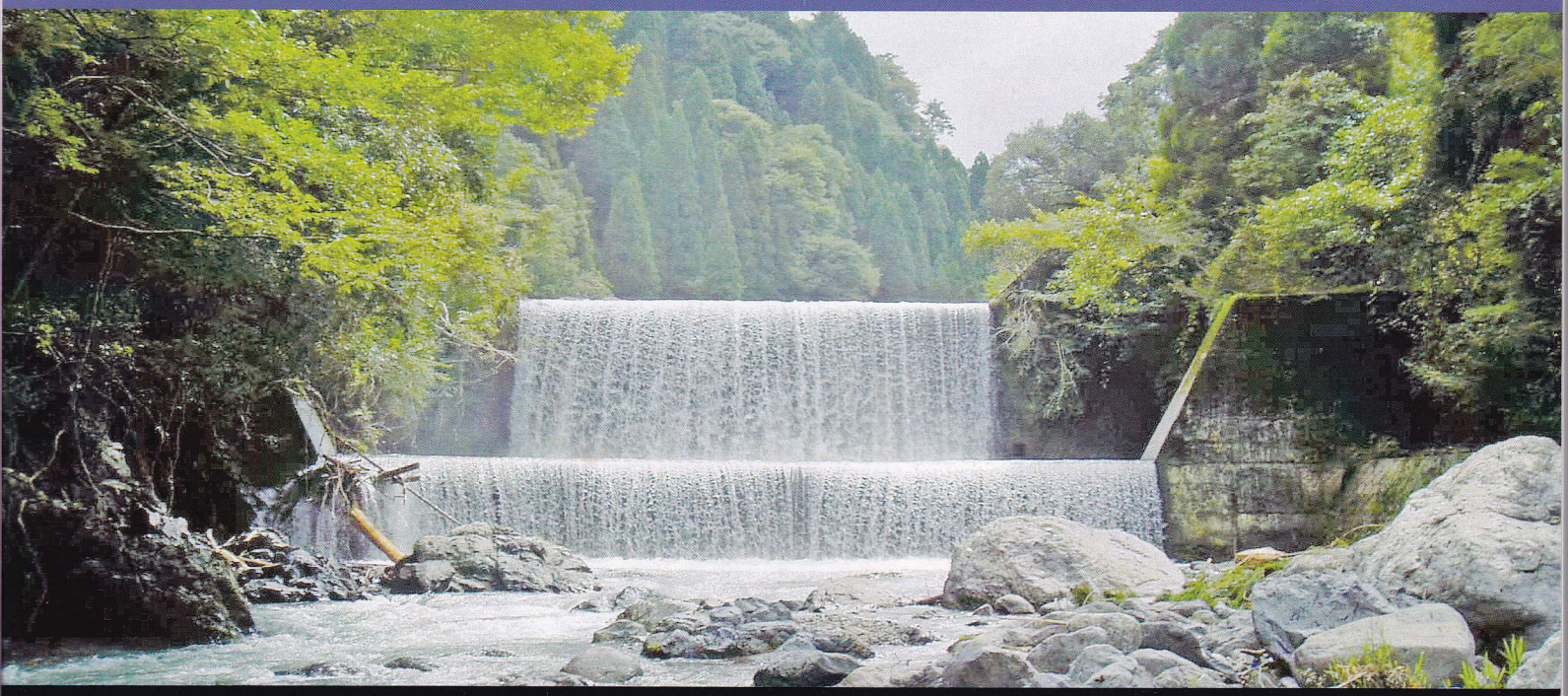
田舎のエネルギー革命

兼瀬哲治 著



地方創生のときが来た！　農山村はエネルギー基地になる

江戸時代、田舎はエネルギー（燃料）を自給していた。さらに都市へ供給していた。
現在、田舎のエネルギーは外から来る。これから、田舎はエネルギーを自給する。

兼瀬哲治

農村の第四革命

－阿蘇南麓からの提案

農村が消える

中山間地の農村が
消滅の瀬戸際にある中
「地租改正」「農地解放」「減反政策」
に次ぐ大革命が胎動している
今、まさに革命的変貌のただ中にある農村
消滅への道を回避し、発展を遂げる方途を示す

定価（本体価格 1,000 円＋税）　熊本日日新聞社